アンチロック・ブレーキ・システム（ＡＢＳ）

ＡＢＳシステム点検

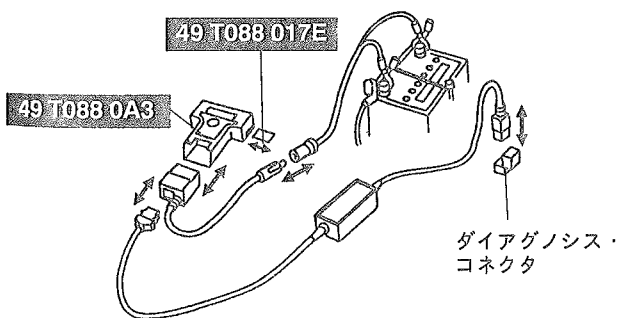
ＡＢＳハイドロリック・ユニット点検（車上）

準備

1. バッテリが完全充電されていることを確認する。
2. イグニッション・スイッチをＯＮにし、ＡＢＳワーニング・ライトが約３秒間点灯後に消灯することを確認する。
3. イグニッション・スイッチをＯＦＦにする。
4. 車両をジャッキ・アップし、安全スタンドで支える。
5. シフト位置をＮレンジにする。
6. パーキング・ブレーキを解除する。
7. ４輪が回転するか確認する。
8. 点検する車輪を手で回して、ブレーキの引きずりがないか確認する。
   - 引きずりがある場合は、通常のブレーキ点検を行う。
   - 引きずりがない場合は、ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵの作動点検を行う。

ＳＳＴ（ＮＧＳ）使用時

1. ＡＢＳハイドロリック・ユニット点検の準備を行う。
2. ＳＳＴ（ＮＧＳ）をダイアグノシス・コネクタに接続する。

参考

- ＳＳＴ（ＮＧＳ）の操作手順は備え付けの取扱説明書／ＮＧＳテスタ活用マニュアルに従う。

3. 以下のコマンドの組合わせでシュミレーション点検を設定する。（参照：ダイアグノシス・システム〔ＡＢＳ〕、シュミレーション点検、シュミレーション項目一覧表）

作動状態	コマンド名				コマンド送信方法
	PMP MOTOR	RF OUTLET	RF INLET	VPWR RLY	
ブレーキ圧保持	ＯＦＦ	ＯＦＦ	ＯＮ	ＯＮ	マニュアル
ブレーキ圧減圧	ＯＮ	ＯＮ	ＯＮ	ＯＮ	

上表は右フロント輪点検の例を示す

参考

- ２人作業で１人はブレーキ・ペダルを踏込み、もう一人は点検する車輪に回転方向の力をかける。

4. ブレーキ・ペダルを踏込み、車輪に回転方向の力をかけた状態でコマンドを送信する。
5. ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵからソレノイド作動音がし、ブレーキ圧保持の状態では車輪が回転せず、ブレーキ圧減圧の状態では車輪が回転することを確認する。

参考

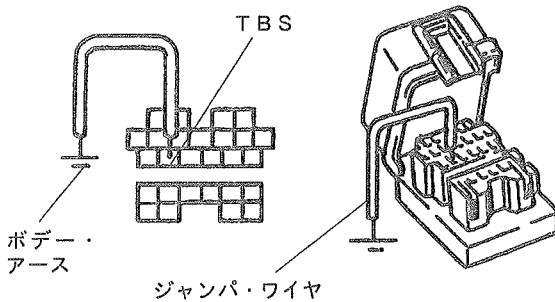
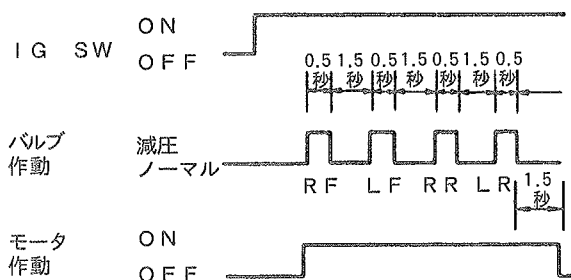
- ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵ保護のため、シュミレーション機能でのソレノイド・バルブおよびＡＢＳモータの１回のＯＮ操作での作動時間は、10秒間以内で行う。

- 手順５までの作動点検で、以下の事項が正常であることが確認できる。
  - ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵへのブレーキ・パイプの配管が正常なこと。
  - ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵ内部を含めたブレーキ油圧系に大きな異常がないこと。
  - ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵ内部の電気系（ソレノイド、モータ等）が正常なこと。
- 但し、以下のことは確認できない。
  - ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵの入力系ハーネス、および部品
  - ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵ内部の油圧系の微少な漏れ
  - 間欠的に起こる手順６（１）～（３）の異常

ＳＳＴ（ＮＧＳ）非使用時

注意

- 故障の原因となるためダイアグノシス・コネクタの短絡位置を絶対に間違えないこと。

1. ＡＢＳハイドロリック・ユニット点検の準備を行う。
2. エンジン・ルーム左側のダイアグノシス・コネクタのＴＢＳ端子をボデー・アースさせる。

3. ２人作業で１人はブレーキ・ペダルを踏込んで、もう１人は点検する車輪を回す。
4. ブレーキ・ペダルを踏込んだままの状態でイグニッション・スイッチＯＮにし、ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵからソレノイド作動音がして、同時に車輪が図示のタイミングで減圧され約0.5秒間回転することを確認する。

5. ＩＧスイッチをＯＦＦにする。
6. 手順２で接続したジャンパ・ワイヤを取外す。
7. ホイールが正常に回転することを確認する。
   - ホイールが回転しない場合は、ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵを交換する。
   - 回転順序が手順４と異なる場合は、ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵとブレーキ・パイピングの接続を確認する。

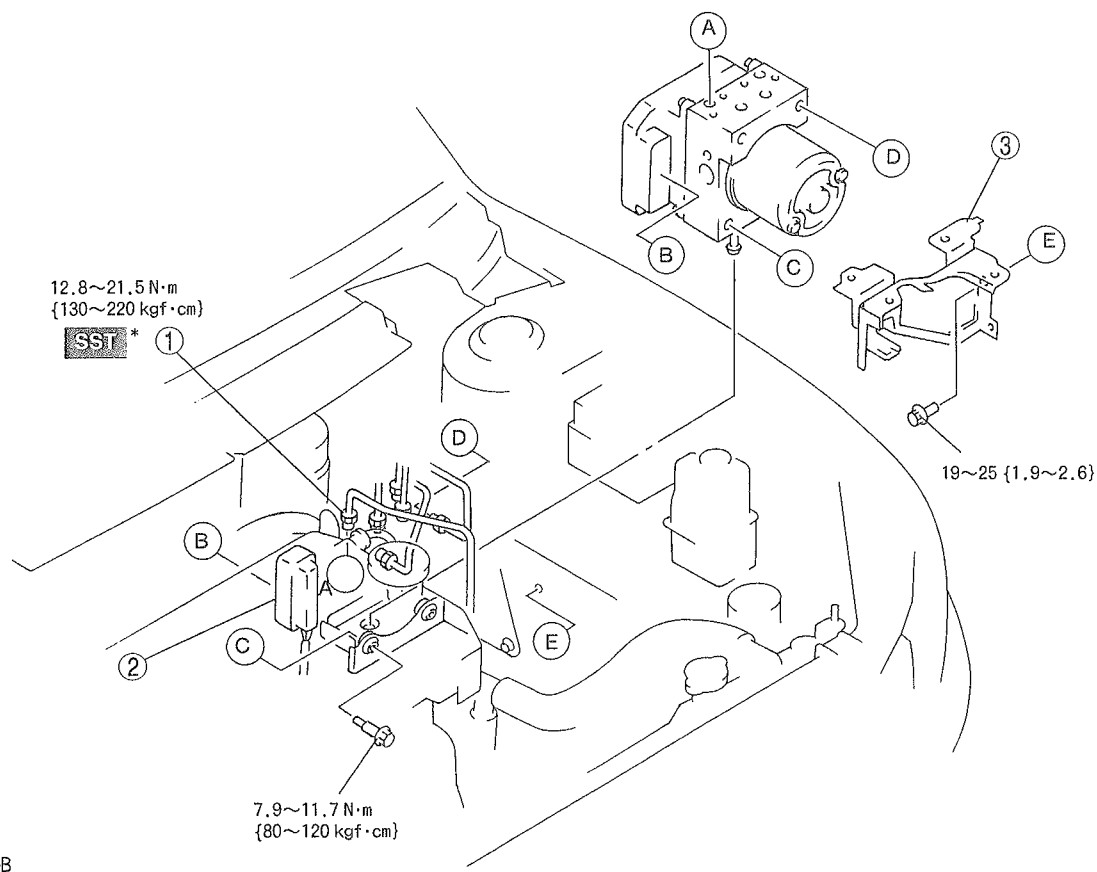
参考

- 以上の作動点検で、以下の事項が正常であることが確認できる。
  - ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵへのブレーキ・パイプの配管が正常なこと。
  - ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵ内部を含めたブレーキ油圧系に大きな異常がないこと。
  - ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵ内部の電気系（ソレノイド、モータ等）が正常なこと。
- 但し、以下のことは確認できない。
  - ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵの入力系ハーネス、および部品
  - ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵ内部の油圧系の微小な漏れ
  - 間欠的におこる上記（１）～（３）の異常

ブ
キ
ノ
よ
な
常

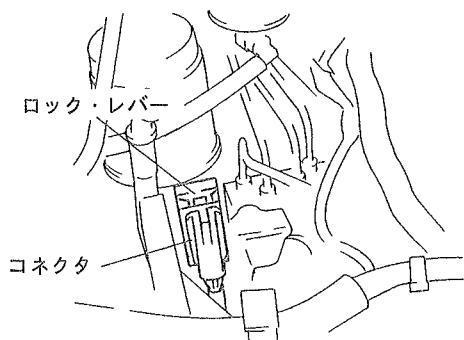
ABS　HU／CU取外し／取付け

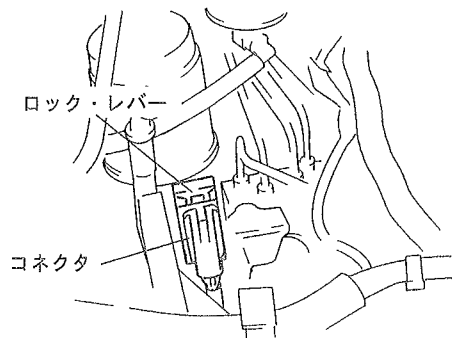
参考
- ABS　HU／CUはアッセンブリ・パーツとしてのみ部品設定されている。従ってHUまたはCUのいずれかに不具合がある場合でも、分解せずアッセンブリ交換する。

1. バッテリ、フレッシュ・エア・ダクト、エア・クリーナ、バッテリ・トレイを取外す。
2. 図に示す手順で取外す。
3. 取外しと逆の手順で取付ける。

1	ブレーキ・パイプ
2	コネクタ ☞ 取外し時の留意点 ☞ 取付け時の留意点

3	バッテリ・トレイ・ブラケット
4	ABSハイドロリック・ユニット／ABSコントロール・ユニット・アッセンブリ ☞ 取外し／取付け時の留意点

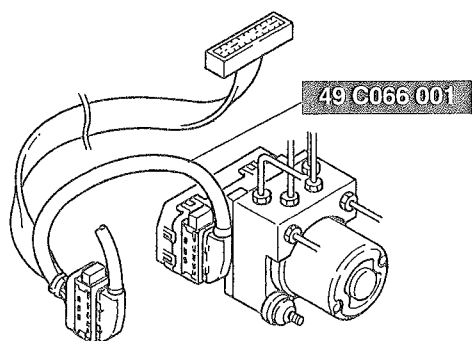
コネクタ取外し時の留意点

1. ロック・レバーを引き上げてコネクタを取外す。

コネクタ取付け時の留意点

1. コネクタ接続後、ロック・レバーが奥まで確実に押し込まれているか確認する。

ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵ取外し／取付け時の留意点

1. ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵアッセンブリを車両から取外す／車両に取付ける場合は、ブレーキ・フルードが入らないようにＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵのコネクタに保護テープを貼って行なう。

ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵ点検

1. バッテリ、バッテリを取外す。（参照：セクションＧ、充放電装置系統、バッテリ取外し／取付け）
2. ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵコネクタを切り離し、ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵとハーネス・コネクタにＳＳＴ（49 C066 001）を接続する。

3. バッテリを取付ける。
4. テスタ・リードをＳＳＴ（49 C066 001）にあて、下記の表を参照して電圧を点検する。

注意

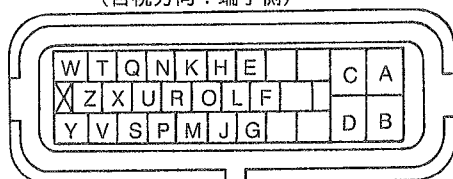
- 車両走行状態で点検する場合は、ＳＳＴのハーネスがエンジン・ルーム内の部品と干渉しないよう注意する。

端子電圧表（参考値）

（別途指示のない場合はコネクタ接続、エンジン・アイドリング状態）

ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵコネクタ
（目視方向：端子側）

ＳＳＴ（49 C066 001）コネクタ
（目視方向：端子側）

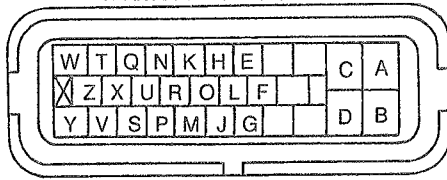
O P Q R S T U V W X Y
A B C D E F G H I J K L M N

V_B：バッテリ電圧

端子	信号名	接続先	測定条件	電圧（Ｖ）	異常時の点検箇所
A	バッテリ電源（ソレノイド・バルブ）	バッテリ	−	V_B	● ハーネス、フューズ（バッテリ〜ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵ）
B	バッテリ電源（ＡＢＳモータ）	バッテリ	−	V_B	● ハーネス、フューズ（バッテリ〜ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵ）
C	アース	アース・ポイント	−	0	● ハーネス（ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵ〜アース・ポイント）
D	アース	アース・ポイント	−	0	● ハーネス（ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵ〜アース・ポイント）
E	自己診断ＫＬＮ	ダイアグノシス・コネクタＫＬＮ	高機能診断出力はシリアル通信で行っているため端子電圧では良否判断ができません。点検はサービス・コード点検で行ってください。		● ハーネス（バッテリ〜ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵ〜ＫＬＮ端子）

ABS　HU／CUコネクタ
（目視方向：端子側）

W	T	Q	N	K	H	E			C	A
X	Z	X	U	R	O	L	F			
Y	V	S	P	M	J	G			D	B

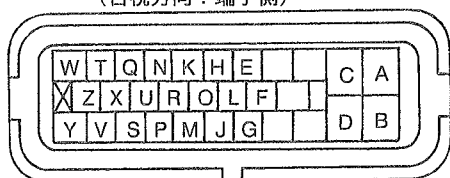
SST（49 C066 001）コネクタ
（目視方向：端子側）

O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	X	X	X
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N

端子	信号名	接続先	測定条件	電圧（V）	異常時の点検箇所
F	ABSワーニング・ライト	ABSワーニング・ライト	ライト点灯時	1.5以上	●ハーネス、フューズ（バッテリ～ワーニング・ライト～ABS　HU／CU）
			ライト消灯時	0.5以下	
G J*1 M*2	RRホイール・スピード	RRホイール・スピード・センサ	停車時	0（AC）	●ハーネス（ホイール・スピード・センサ～ABS　HU／CU） ●ホイール・スピード・センサ
			車速10 km/h走行時	0.3以上（AC）	
H K	LRホイール・スピード	LRホイール・スピード・センサ	停車時	0（AC）	●ハーネス（ホイール・スピード・センサ～ABS　HU／CU） ●ホイール・スピード・センサ
			車速10 km/h走行時	0.3以上（AC）	
I	－*1	－	－	－	－
	Gセンサ（アース）*2	Gセンサ	－	0	●ハーネス（Gセンサ～ABS　HU／CU）、Gセンサ
J	車速出力*2	コンビネーション・メータ	停車時	0（AC）	●ハーネス（ABS　HU／CU～メータ） ●コンビネーション・メータ ●ホイール・スピード・センサ
			車速40 km/h走行時	0.5以上（AC）	
L	自己診断TBS	ダイアグノシス・コネクタTBS	－	10～14	●ハーネス（バッテリ～ABS　HU／CU～TBS端子）
M	－*1	－	－	－	－
N	バッテリ電源	イグニッションSW	－	V_B	●ハーネス、フューズ（バッテリ～IG　SW～ABS　HU／CU）
O	－*1	－	－	－	－
	Gセンサ（信号）*2	Gセンサ	車両水平時	2.5±0.1	●ハーネス（Gセンサ～ABS　HU／CU）、Gセンサ
P S	RFホイール・スピード	RFホイール・スピード・センサ	停車時	0（AC）	●ハーネス（ホイール・スピード・センサ～ABS　HU／CU） ●ホイール・スピード・センサ
			車速10 km/h走行時	0.3以上（AC）	
Q	－*3	ダイアグノシス・コネクタ*3	－	0	●ハーネス、フューズ（ABS　HU／CU～ダイアグノシス・コネクタ）
R	ブレーキ・システム・ワーニング・ライト	ブレーキ・システム・ワーニング・ライト	ライト点灯時（パーキング・ブレーキ解除時）	1.5以上	●ハーネス、フューズ（バッテリ～ワーニング・ライト～ABS　HU／CU）
			ライト消灯時	0.5以下	
T W	LFホイール・スピード	LFホイール・スピード・センサ	停車時	0（AC）	●ハーネス（ホイール・スピード・センサ～ABS　HU／CU） ●ホイール・スピード・センサ
			車速10 km/h走行時	0.3以上（AC）	

*1 2WD車のみ
*2 4WD車のみ
*3 車両製造時にのみ使用

ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵコネクタ
（目視方向：端子側）

ＳＳＴ（49 C066 001）コネクタ
（目視方向：端子側）

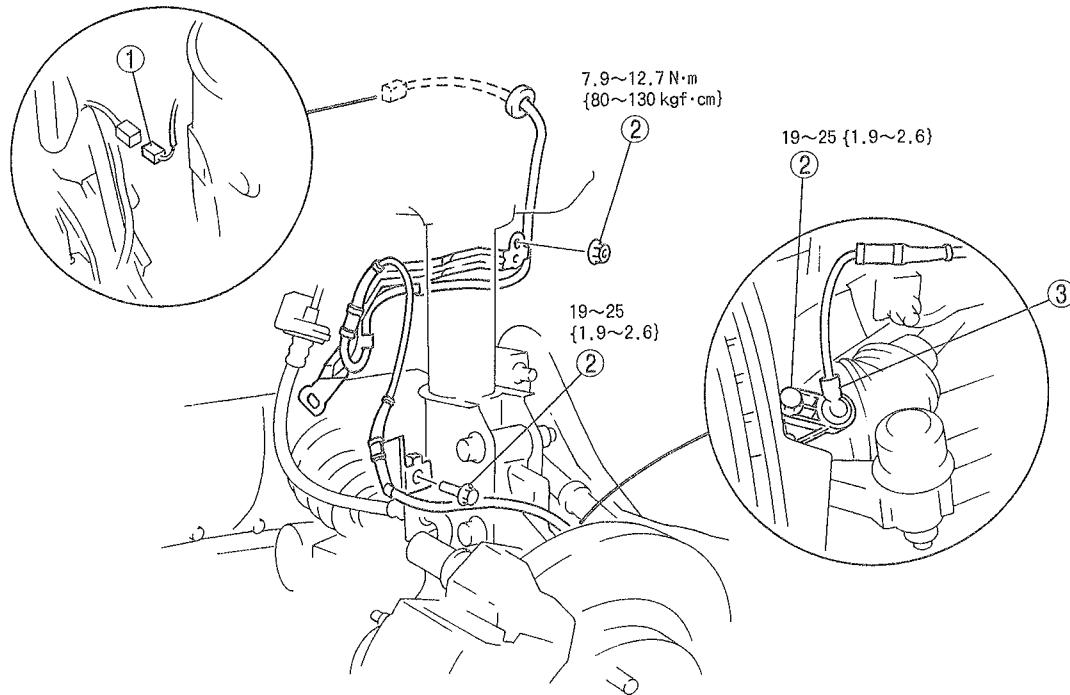
O P Q R S T U V W X Y
A B C D E F G H I J K L M N

端子	信号名	接続先	測定条件	電圧（V）	異常時の点検箇所
U	－	－	－	－	－
V	ストップ・ライト・スイッチ	ストップ・ライト・スイッチ	ブレーキ・ペダルを踏んだ時	10～14	● ハーネス、フューズ（バッテリ～ストップ・ライト・スイッチ～ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵ）
			ブレーキ・ペダルを踏まない時	0.5以下	
X	－	－	－	－	－
Y	－	－	－	－	－

参考

● ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵの出力波形（オシロスコープ使用による車速信号）
測定端子：Ｊ端子－ＧＮＤ
計器セット：２Ｖ／ＤＩＶ、10ms/DIV
測定条件：車速10km/hで走行中

車速が上がるほど、周期は短くなる。

ＡＢＳホイール・スピード・センサ（フロント）取外し／取付け

1. 図に示す手順で取外す。
2. 取外しと逆の手順で取付ける。

1	コネクタ
2	ボルト、ナット
3	ＡＢＳホイール・スピード・センサ（フロント）

ＡＢＳホイール・スピード・センサ（フロント）点検

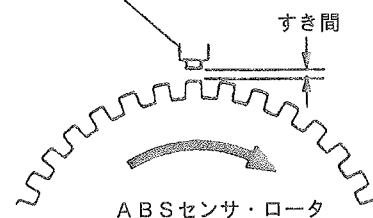
取付状態の点検

1. 取付けにゆるみ、ガタ、センサ本体に変形がないか、ＡＢＳセンサ・ロータに変形、歯欠けがないか目視点検する。
   - 不具合があれば交換する。

すきま点検

1. ＡＢＳセンサ・ロータとＡＢＳホイール・スピード・センサ間のすき間を確認する。
   - 不具合があれば交換する。

すき間

0.3～1.1 mm

抵抗値点検

1. サーキット・テスタを使用して、ＡＢＳセンサの端子間の抵抗を測定する。
   - 不具合があれば交換する。

標準値

1.5±0.2 kΩ

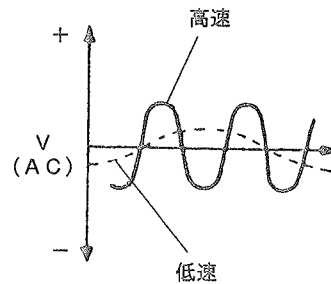
出力電圧点検

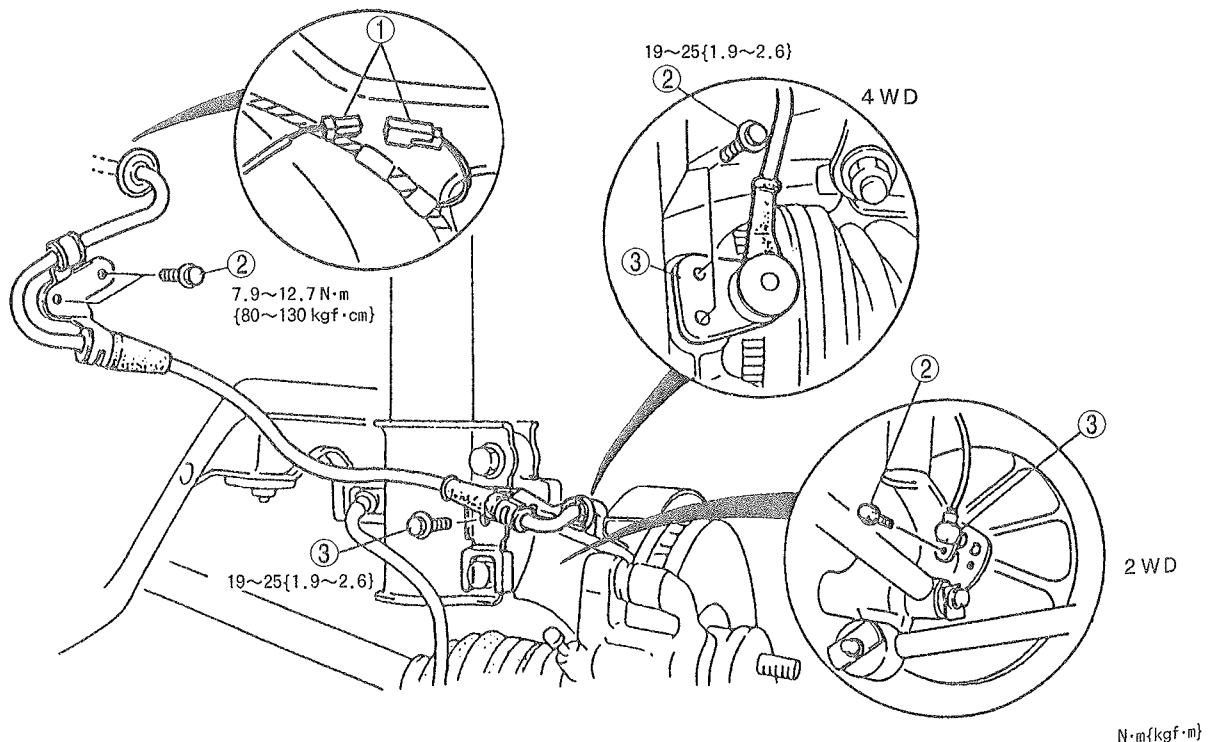
1. 車両をジャッキ・アップし、安全スタンドで支える。

2. 点検するセンサのコネクタを切離し、サーキット・テスタをＡＣ（交流）レンジにしてセンサの端子電圧が測定出来るようにセットする。
3. 車輪を手で回し、回転速度が１秒間に１回転程度になるようにする。このときの端子間電圧が以下の範囲にあるか点検する。
   - 異常があればＡＢＳホイール・スピード・センサを交換する。

出力電圧値
0.25～1.2V（ＡＣレンジ）

出力電圧波形点検
1. 車両をジャッキ・アップし、ＡＢＳホイール・スピードセンサのコネクタにオシロスコープを接続する。
2. 車輪を手で回しながら、出力電圧波形を点検する。
   - 波形に乱れ、欠けがある場合はセンサ・ロータを点検する。

高速
＋
V
(AC)
－
低速

ＡＢＳホイール・スピード・センサ（リヤ）取外し／取付け

1. トランク・サイド・トリムを取外す。（参照：セクションＳ、トリム、トランク・サイド・トリム取外し／取付け）
2. 図に示す手順で取外す。
3. 取外しと逆の手順で取付ける。

1	コネクタ
2	ボルト
3	ＡＢＳホイール・スピード・センサ（リヤ）

ＡＢＳホイール・スピード・センサ（リヤ）点検

1. フロント側と同じ手順で点検する。（参照：アンチロック・ブレーキ・システム（ＡＢＳ）、ＡＢＳホイール・スピード・センサ（フロント）点検）

Gセンサ（4WD）取外し／取付け

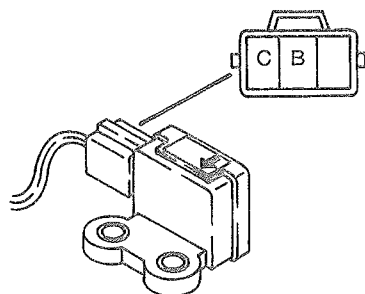
1. 助手席側フロント・シートを取外す。（参照：セクションS、シート、フロント・シート取外し／取付け）
2. Bピラー・ロア・トリムを取外す。（参照：セクションS、トリム、Bピラー・ロア・トリム取外し／取付け）
3. フロア・マットをめくり、図に示す手順で取外す。
4. 取外しと逆の手順で取付ける。

1	コネクタ
2	ボルト
3	Gセンサ

Gセンサ（4WD）点検

1. イグニッション・スイッチONで、Gセンサ・コネクタの出力端子BとアースC間の以下の状態における電圧を測定する。
   - 不具合がある場合は、Gセンサを交換する。

(1) 水平状態

標準値
2.5 ±0.1V

(2) 上向きの状態（水平状態から90° 上に傾斜）

標準値
1.5V±0.2V

(3) 下向きの状態（水平状態から90° 下に傾斜）

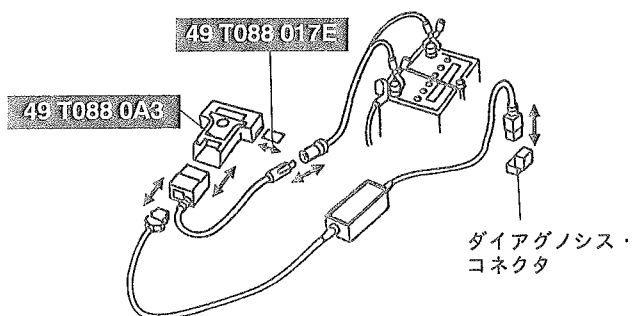
標準値
3.5V±0.2V

ダイアグノシス・システム［ＡＢＳ］

サービス・コード点検

ＳＳＴ（ＮＧＳ）使用時

1. ＳＳＴ（ＮＧＳ）をダイアグノシス・コネクタに接続する。

参考

- ＳＳＴ（ＮＧＳ）の操作手順は備え付けの取扱説明書／ＮＧＳテスタ活用マニュアルに従う。

2. 車種、システムを選択する。
3. サービス・コードを点検する。正常な場合は、「システム　パス（ＤＴＣ　ナシ）」と表示される。

参考

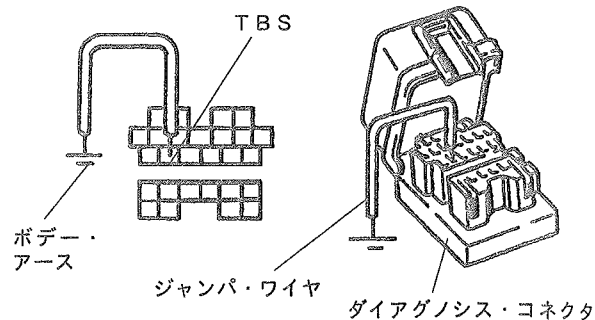
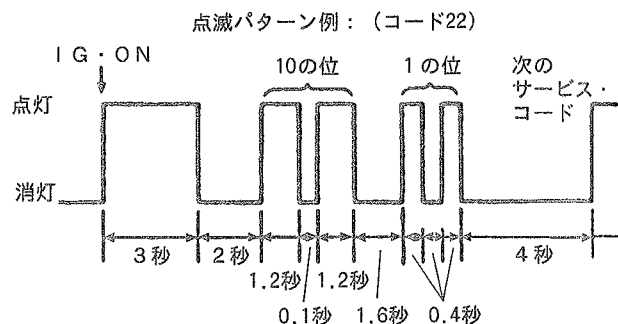
- 「テスト／キノウ　ジッコウ　フカノウ」と表示される場合は備え付けの取扱説明書／ＮＧＳテスタ活用マニュアルを参照する。

4. サービス・コードが表示される場合は、サービス・コード別の診断を行い不具合箇所を修復する。
5. 故障修理後はメモリされているサービス・コードを消去する。（参照：ダイアグノシス・システム（ＡＢＳ）、サービス・コード点検、メモリ消去手順）
6. ＳＳＴを取外す。

ＳＳＴ（ＮＧＳ）非使用時

注意

- 故障の原因となるため、ダイアグノシス・コネクタの短絡位置を絶対に間違えないこと。

1. ジャンパ・ワイヤを使用して、ダイアグノシス・コネクタのＴＢＳ端子をボデー・アースする。

2. イグニッション・スイッチをＯＮにする。
3. 約３秒間ＡＢＳワーニング・ライト点灯後、サービス・コードの出力が開始される。
4. ＡＢＳワーニング・ライトの点滅回数を読取る。正常な場合、ＡＢＳワーニング・ライトは点滅しない。

参考

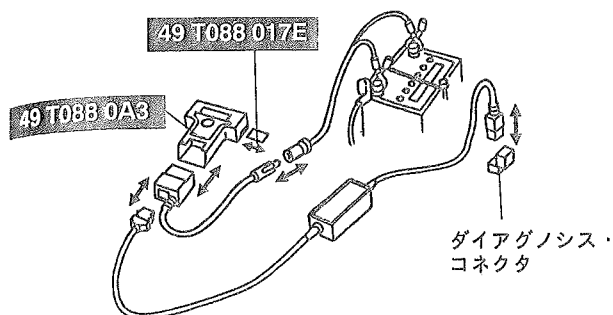
- イグニッション・スイッチＯＮ後、約３秒間点灯しその後２秒間消灯して、表示を始める。
- イグニッション・スイッチＯＮ後に、ＴＢＳ端子をボデー・アースした場合、上記の約３秒間の点灯は省略される。

5. サービス・コードが表示される場合は、サービス・コード別の診断を行い不具合箇所を修復する。
6. 故障修理後はメモリされているサービス・コードを消去する。（参照：ダイアグノシス・システム〔ＡＢＳ〕、サービス・コード点検、メモリ消去手順）
7. 手順１．で接続したジャンパ・ワイヤを取外す。

メモリ消去手順

ＳＳＴ（ＮＧＳ）使用時

1. 故障が修復したらＳＳＴをダイアグノシス・コネクタに接続する。

参考

- ＳＳＴ（ＮＧＳ）の操作手順は備え付けの取扱説明書／ＮＧＳテスタ活用マニュアルに従う。

2. サービス・コードを消去する。
3. イグニッション・スイッチをＯＦＦにする。
4. 再度サービス・コード点検を行い、サービス・コードが出力されないことを確認する。

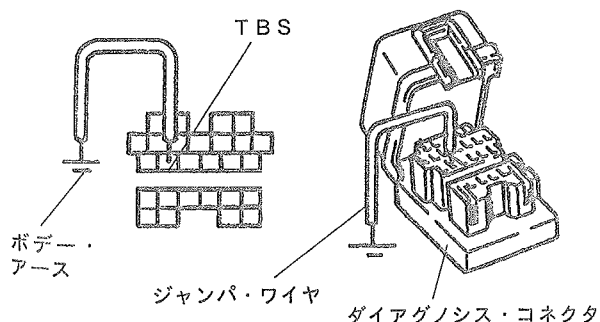
参考

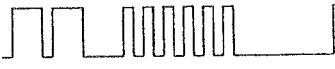
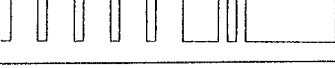
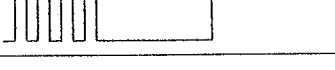
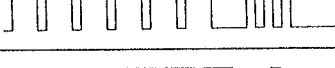
- ＡＢＳホイール・スピード・センサ、ＡＢＳモータ系の故障修復後は、一度イグニッション・スイッチをＯＦＦにして、10km/h以上で走行するまでＡＢＳワーニング・ライトは点灯している。

ＳＳＴ（ＮＧＳ）非使用時

注意

- **故障の原因となるため、ダイアグノシス・コネクタの短絡位置を絶対に間違えないこと。**

1. ジャンパ・ワイヤを使用して、ダイアグノシス・コネクタのＴＢＳ端子をボデー・アースする。

2. イグニッション・スイッチをＯＮにする。
3. 記憶されているサービス・コードを全て出力する。
4. 故障診断モードのままで、再度最初のコードが出力されるのを確認して、ブレーキ・ペダルを10回踏む。この時、ペダルを踏む１回ごとの間隔は、１秒以内で行う。
5. イグニッション・スイッチをＯＦＦにし、ジャンパ・ワイヤを外す。

参考

- サービス・コードは次の場合、消去されない。
  1. ブレーキ・ペダルを踏む間隔が１秒を超える場合。
  2. ストップ・ライト・スイッチが故障している場合。
- ＡＢＳホイール・スピード・センサ、ＡＢＳモータ系の故障修復後は、一度イグニッション・スイッチをＯＦＦにして、10km/h以上で走行するまでＡＢＳワーニング・ライトは点灯している。

サービス・コード一覧表

No.		ＡＢＳワーニング・ライト出力パターン	診断系統
ＮＧＳ	ABSワーニング・ライト		
C1095	54		ＡＢＳモータ、モータ・リレー
C1096	53		ＡＢＳモータ、モータ・リレー
C1145	11		右フロントＡＢＳホイール・スピード・センサ
C1148	41		右フロントＡＢＳホイール・スピード・センサ／センサ・ロータ
C1155	12		左フロントＡＢＳホイール・スピード・センサ
C1158	42		左フロントＡＢＳホイール・スピード・センサ／センサ・ロータ
C1165	13		右リヤＡＢＳホイール・スピード・センサ
C1168	43		右リヤＡＢＳホイール・スピード・センサ／センサ・ロータ
C1175	14		左リヤＡＢＳホイール・スピード・センサ
C1178	44		左リヤＡＢＳホイール・スピード・センサ／センサ・ロータ
C1186	51		フェイル・セーフ・リレー
C1194	24		左フロント・ソレノイド・バルブ（アウトレット側）
C1198	25		左フロント・ソレノイド・バルブ（インレット側）
C1210	22		右フロント・ソレノイド・バルブ（アウトレット側）
C1214	23		右フロント・ソレノイド・バルブ（インレット側）
C1233	46		左フロントＡＢＳホイール・スピード・センサ
C1234	45		右フロントＡＢＳホイール・スピード・センサ
C1235	47		右リヤＡＢＳホイール・スピード・センサ
C1236	48		左リヤＡＢＳホイール・スピード・センサ
C1242	28		左リヤ・ソレノイド・バルブ（アウトレット側）

No.		ABSワーニング・ライト出力パターン	診断系統
NGS	ABSワーニング・ライト		
C1246	26		右リヤ・ソレノイド・バルブ（アウトレット側）
C1250	29		左リヤ・ソレノイド・バルブ（インレット側）
C1254	27		右リヤ・ソレノイド・バルブ（インレット側）
C1266	52		フェイル・セーフ・リレー
C1949*1	03*1		Gセンサ
C1950*1	04*1		Gセンサ
B1318	63		バッテリ電源
B1342	61		ABS HU／CU

*1：4WD車のみ

サービス・コードC1949（03），C1950（04）：Gセンサ系統

検出条件

- C1949（03）：Gセンサの断線、ショートを検知した時
- C1950（04）：走行中Gセンサの出力電圧不良を検知した時

考えられる原因

- Gセンサ系断線、ショート、内部故障

診断手順

ステップ	点検		処置
1	GセンサおよびABS HU／CUのコネクタ、ピンの接続不良、かん合状態は正常か	Yes	次のステップに進む
		No	コネクタを修正、交換する
2	Gセンサの電圧を点検する ☞アンチロック・ブレーキ・システム（ABS）、Gセンサ（4WD）点検 結果は正常か	Yes	ハーネスを修正、交換した後、次のステップに進む
		No	Gセンサを交換する
3	他の故障が修理完了でサービス・コードを消去した後、車速10km/hを超える速度で走行した後に、再度点検を行ったときサービス・コードが表示されるか	Yes	ハーネスおよびコネクタの一時的な接触不良 不具合原因を究明する
		No	全て正常

サービス・コードC1186（51）／C1266（52）：フェイル・セーフ・リレー系統

検出条件

- C1186（51）：・起動時にＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵ内部のフェイル・セーフ・リレーのショートまたは断線を検出する。
  ・ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵ内部のソレノイド・バルブの断線またはショートを検出する。
- C1266（52）：起動時にＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵ内部のフェイル・セーフ・リレーのショート（ＯＮ側固着）を検出する。

考えられる原因

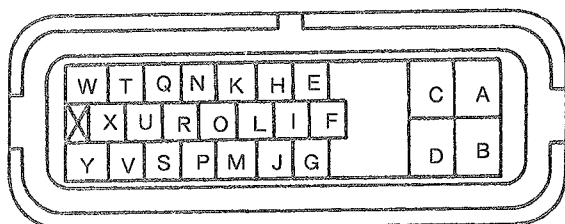
- バッテリ～ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵのＡ端子、バッテリ～ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵのＢ端子間の断線、ショート
- ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵ内部のフェイル・セーフ・リレーの断線、ショート

診断手順

ステップ	点　検		処　置
1	ＡＢＳ（60Ａ）フューズはＯＫか	Yes	次のステップに進む
		No	フューズを交換する
2	ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵコネクタを切離してＳＳＴ（49 C066 001）を接続し、ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵのＡ端子の電圧を点検する 電圧はバッテリ電圧か	Yes	次のステップに進む
		No	バッテリ～ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵのＡ端子、バッテリ～ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵのＢ端子間の断線、ショート ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵ端子を点検、修理する
3	他の故障が修理完了でサービス・コードを消去した後、再度点検を行ったとき、サービス・コードが表示されるか	Yes	ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵを交換する
		No	ハーネスおよびコネクタの一時的な接触不良 不具合原因を究明する

ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵコネクタ
（目視方向：端子側）

ＳＳＴ（49 C066 001）コネクタ
（目視方向：端子側）

O P Q R S T U V W X Y
A B C D E F G H I J K L M N

注意

- ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵコネクタ端子の電圧、抵抗、導通点検は、ＳＳＴをＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵ～車両ハーネス間に接続し、テスタ・リードをＳＳＴに当てて点検する。（参照：アンチロック・ブレーキ・システム（ＡＢＳ）、ＡＢＳ　ＨＵ／ＣＵ点検）